



ワイズメンズクラブ国際協会

# YMIWORLD

強い義務感を持とう 義務はすべての権利に伴う



第75回 国際大会  
YMIフェスティバル・オブ・ドリームズ  
2026年9月10日～13日 マレーシア、ペナン  
最終案内 - 早割料金は5月31日まで!

2026 PENANG



YMIフェスティバル・オブ・ドリームズ

2026年9月10日～13日

## 最終案内 - 早割は5月31日まで

IC 2026（2026年国際大会）は、2026年9月10日から13日まで、マレーシアのペナン州ジョージタウンで開催され、この記念すべき大会にふさわしい活気あふれる舞台となるでしょう。

5月31日までは、早期割引料金の495米ドルでご利用いただけます。この機会をお見逃しなく！6月1日からは、料金が600米ドルに上がります。

本大会はセント・ジャイルズ・ウェンブリー・ペナン・ホテルで開催され、特別料金の1泊90米ドル（ツインルーム、朝食付き）で客室をご利用いただけます。ご予約は、大会登録時にできます。大会会場からは、市内の主要観光スポットへも簡単にアクセスできます。

ペナンは、ユネスコ世界遺産という恵まれた環境の中で、文化、伝統、そして人々の繋がりを融合させた、YMIフェスティバル・オブ・ドリームズにとって理想的な舞台となります。

エクスカージョンは、詳細を現在最終調整中ですが、大会参加者にとって重要な体験となるでしょう。9月12日（土）終日のプログラムには、以下の内容が含まれます。

ペナンヒル  
極楽寺  
眠れる仏陀  
ジョージタウンのストリートアート  
リトル・インディア  
クラン・ジェッティーズ



クラン・ジェッティーズ、極楽寺、ペナンヒル

### エクスカージョン情報

他の参加者とともに、ペナン島の豊かな文化、歴史遺産、そして自然の美しさを一日かけて満喫しましょう。各グループには地元のガイドが同行し、島の歴史、伝統、そして人々の日常生活を通して、この島の魅力を肌で感じることができます。

ペナンで開催されるIC 2026は、交流を深め、探求し、YMIフェスティバル・オブ・ドリームズの一員となる絶好の機会です。

5月31日までに登録してください！

早期割引登録期間が2026年5月31日まで延長されました。

495米ドル

詳細情報や登録についてはウェブサイトをご覧ください。

[www.ysmen.org/ic2026](http://www.ysmen.org/ic2026)

# 目次

	ページ
<b>2026年国際大会プロモーション</b>	2
<b>目次</b>	3
<b>国際会長メッセージ</b> エドワード・K・W・オン氏 国際会長	4
<b>国際本部ニュース</b> ジョース・ヴァルギース 国際書記長	5
<b>リーダーシップトレーニングと組織開発</b> ティボール・フォキ LTOD国際事業主任	6
<b>TOFプロジェクト特集：若者のエンパワーメント：地域 社会の健康増進の担い手</b> チェンマイ・ワイズメンズクラブ	7
<b>若者：ワイズメンズクラブ国際協会の強みと未来</b> シンドウ・トーマス	8
<b>アフリカ地域ニュース</b> ジョウン・マティ アフリカ地域編集者	9
<b>アジア太平洋地域ニュース</b> 利根川恵子 アジア太平洋地域ニュース編集者	11
<b>ヨーロッパ地域ニュース</b> ビルジット・ジェイコブセン ヨーロッパ地域ニュース編集者	12
<b>インド地域ニュース</b> ジョセフ・ヴァルギース インド地域ニュース編集者	14
<b>韓国地域ニュース</b> チヨン・ギョンジュ 韓国地域ニュース編集者	17
<b>米国地域ニュース</b> メラニー・カアイフエ・ヨシダ氏 米国地域ニュース編集者	20
<b>国連デー</b> ロイズ・マラセリー 国連プロジェクト委員会メンバー	21
<b>IYC 2026 プロモーション</b> 2026-27年度 国際ユース委員会	22
<b>キリスト教強調：聖霊</b> ヴィリー・モルゴー キリスト教強調国際事業主任ター	24

## 編集長から

YMI ワールドに関するご意見やアイデアを共有するには、編集長までご連絡ください。

6月は、  
歴史、YMCAとの関係、年度の振り返りの  
強調月間です。

インパクトのあるストーリーを投稿するには、  
以下をクリックしてください。  
締め切り：2026年5月15日

[編集長へ](#)



## 今期の総括、今後の取り組み、そして エキサイティングな大会ニュース！

国際会長 エドワード・K・W・オン

2025/2026年度の終わりに近づくと、これまでの道のりと、共通の目標達成に向けた進捗状況を誇りに思うことができます。年度末を力強く締めくくるため、地域会長、国際・地域事業主任、国際委員会の委員長といった貴重なリソースをぜひご活用ください。残りの数週間で力を合わせることで、プログラム目標の達成に焦点を絞り、私たちの活動が有意義で測定可能な成果につながるよう努めてまいります。

### 未来に向けてクラブを活性化する

最優先事項は、若い世代を惹きつけ、積極的に参加してもらうことでクラブを活性化させると同時に、経験豊富なベテラン会員を尊重し、その功績を称え続けることです。多様な興味やエネルギーレベルを反映した、包摂的で柔軟な機会を提供し、新たなクラブや趣味に基づくグループを結成することで、親睦を深め、会員の定着率を高め、支え合い、活気に満ちたコミュニティを構築することができます。

### 国際大会に関するエキサイティングな最新情報

9月には国際大会（IC）が開催され、盛大なイベントとなるよう準備が着々と進められています。当初ドバイで開催予定だった大会は、中東における予期せぬ地政学的情勢の悪化を受け、開催地が変更されました。これは、参加者全員の安全と安心を確保するための、困難ではありましたが、必要な決断でした。この度、ICは、美しく穏やかなマレーシアのペナン島で開催されることになったことを、喜びを持ってしくお知らせいたします。

1786年に設立された歴史あるイギリスの自由港であるペナンは、タイ南部に近いマレーシア西海岸沖に位置し、多様な文化、民族、宗教が魅力的に融合した街です。数多くの植民地時代の建造物、活気あふれるストリートアート、そして絶妙なフュージョン料理で知られる美食の街としての評判が、その独特の魅力の源泉となっています。

### 大会プログラムのハイライト

大会プログラムは、刺激的で爽快な内容となることが期待され、マレーシアの豊かな文化伝統にインスパイアされたゲームなどのインタラクティブな要素も盛り込まれています。また、丸一日の日帰りツアーでは、マレーシアの美しさ、歴史遺産、そして温かいおもてなしをさらに深く体験していただけます。

私たちは、ペナンの歴史的な首都ジョージタウンにある素晴らしいイベント会場を選定しました。この会場は、コンベンション開催前、開催中、開催後を通してリーズナブルな宿泊料金を提供しており、商店街や他のホテルにも近く、便利な立地です。

ユネスコ世界遺産に登録されているペナン島は、中国、マレー、インドなど多様なコミュニティが織りなす活気に満ちた多文化体験を提供しており、その特徴は、独特のプラナカン文化、料理、伝統に反映されています。海を愛する人にとって、ペナン島の魅力的な砂浜はまさに理想的な逃避場所となるでしょう。

ペナンは、国際大会にとって刺激的で思い出深い舞台となることを確信しています。この素晴らしい地で、これまでの成果を祝い、新たな繋がりを築くことを心待ちにしています。

# 国際本部ニュース

国際書記長 ジョース・ヴァルギース



この1か月間、私たち運動は、各区で意義深い活動と心強い進展を遂げてきました。世界マラリアデーは盛大に祝われ、健康意識の向上と地域社会への貢献に対する私たちの継続的な取り組みが改めて示されました。また、各クラブは「Week4Waste」の取り組みにも積極的に参加し、環境の持続可能性への関与に強い意欲を示しました。

5月を通して、あらゆるレベルでリーダーシップ育成に重点が置かれ、ビジョンと目的意識を持って私たちの使命を前進させる有能なリーダーを育成する必要性を強調するとともに、若者を積極的に巻き込み、力を与えることを目指します。

マレーシアのペナンで開催される国際イベントの準備は、順調に進んでいます。国際ユースコンボケーションは、2026年9月7日から13日までペナンYMCAで、国際大会は、2026年9月10日から13日までセント・ジャイルズ・ウェンブリー・ホテルで開催されます。代表者立法協議会は、2026年9月13日から17日まで開催されます。

会員の皆さまへお知らせいたします。特別ホテル料金を含む早期割引登録は、2026年5月31日までとなっております。この機会をぜひご利用いただき、ご参加をお決めください。

国際プログラムへの献金の納付期限は5月31日です。目標達成、持続可能性の確保、そして最大限の効果の発揮のために、会員の皆さまには惜しみない献金をお願いいたします。

また、ウクライナとアルメニアに新たなクラブが設立されたことは大変喜ばしいことであり、この功績を成し遂げたデンマーク区に心からお祝いを申し上げます。

ラテンアメリカ地域（LAM）のクラブリーダーを対象としたオンライン研修が4月24日に開催され、国際本部とLAM地域本部の共同主催により、約40名の参加者を集めて成功裏に終了しました。研修では、ヨハン次期国際会長がブルーミュージックとブルーミュージック・アンバサダー・プログラムのビジョンを共有し、LTOD国際事業主任ティボール・フォキと国際書記長のジョース・ヴァルギースが、参加者の興味を引き、示唆に富むセッションを主導しました。

今後の予定としては、マリタイムズ区では5月21日から23日にかけて第75回区大会が開催され、ジョース・ヴァルギース国際書記長が講演者として参加します。また、2026年5月15日から18日に香港で開催される南投アジア区の第92回区大会では、エドワード国際会長が基調講演を行う予定です。

全体として、この期間は、リーダーシップ育成、プログラムの拡大、国際協力において力強い勢いを反映していて、メンバーが今後も関わり続け、有意義な貢献をするための多くの機会があります。

# リーダーシップトレーニングと 組織開発

ティボール・フォキ LTOD国際事業主任



リーダーシップトレーニングと組織開発（LTOD）担当の国際事業主任として、皆さまの地域や区で研修会を開催するのに最適な時期はいつでもありますが、特にYMIの新年度が近づき、新任リーダーの就任準備が進められる今こそ、研修会を開催する絶好の機会であることを改めてお伝えしたいと思います。

3月にインドネシアのバリ島で開催された次期理事サミットに参加いただいた方はご存じかと思いますが、過去、現在、そして未来の国際会長の方々が参加し、重要なセッションに貢献・進行役を務めてくださったことは大変光栄でした。次期区理事や次期地域会長の方々は、リーダーとして成長し、リーダーシップスキルを強化し、意見交換を行い、今後の活動を支える有意義な協力関係を築くための貴重な機会を得ました。

ワイズメンズクラブ国際協会（YMI）の使命に改めて取り組む時が来ました！新任役員とYMIの全会員を支援するために用意されたリソースに関する情報をお伝えできることを嬉しく思います。

リーダーシップの道を歩み続ける皆様を支援するため、様々な研修資料が[www.ysmen.org](http://www.ysmen.org)でオンラインで入手可能です。

## 利用可能なリソースは以下のとおりです。

- YMIの紹介に関するPowerPoint資料と小冊子
- YMIの歴史（3部構成のビデオシリーズを含む）
- YMIの国際憲法および付則
- 紛争解決手続き
- YMIの行動規範
- 各種役員の役割と責任（クラブ会長から立法協議会代表まで）
- ゴールド2.0リーダーシップモジュール
- パワーポイント資料、ビデオ、その他、当団体の様々な国際プログラムやプロジェクトに関する各種プロモーション資料および情報資料。

これらの資料のほとんどは、当ウェブサイトの「トレーニング」または「ダウンロード」セクションに掲載されています。特定の資料が見つからない場合や、資料に不足している点がある場合は、遠慮なく私または国際本部スタッフまでご連絡ください。マニュアル審査委員会の支援と皆さまからの貴重なご意見により、トレーニングコンテンツを常に最新かつ関連性の高い、効果的なものにするよう努めています。トレーニングセッションの企画や進行に関するサポートが必要な場合は、まず各地域のLTOD事業主任にご連絡ください。さらにサポートが必要な場合は、私は、いつでもお手伝いいたします。

ワイズメンズクラブ国際協会のあらゆるレベルで、自信に満ちた献身的なリーダーを育成し続けましょう。皆さまの成長と積極的な参加は、私たちの活動を強化し、奉仕活動を通して世界的な影響力を拡大していく上で不可欠です。

## TOFプロジェクト特集

# 若者のエンパワーメント： 地域社会の健康増進の担い手

チェンマイワイズメンズクラブ

今回、注目されるプロジェクトは、タイのチェンマイで実施されている「若者のエンパワーメント：地域社会の健康増進の担い手」事業です。これは、チェンマイYMCAがチェンマイワイズメンズクラブと提携し、同クラブのユニYクラブプログラムを通じて実施しています。

チェンマイでは、若者、特に脆弱な立場にある大学生や社会的に疎外された移民の若者の間で、ますます多くの課題が生じています。彼らは、性と生殖に関する健康教育、メンタルヘルス支援、体系的な自己啓発の機会へのアクセスが不足していることが多く、こうした格差は、危険な行動や社会的排除へのリスクを高め、若者主導による的を絞った介入がますます緊急性を帯びてきています。

2010年以來の長年にわたるパートナーシップを基盤として、本プロジェクトは、20～25名の大学生を認定ウェルネスエージェントとして育成することで、ユニYクラブを青少年育成拠点として強化します。これらの学生は、健康リテラシー、メンタルヘルス応急処置、リーダーシップスキルに関する実践的なトレーニングを受け、生殖に関する健康意識、精神的回復力、青少年のエンパワーメントに焦点を当てたピアツーピアのアウトリーチプログラムを企画・実施できるようになります。

YMCAのスタッフおよび提携団体であるYMIクラブと協力し、「ウェルネスエージェント」は、地域密着型のキャンペーンを主導し、ニーズ調査を実施し、大学生と移民の若者を対象とした教育活動を行います。この取り組みでは、意識向上、参加率向上、行動変容といった成果を測定するための、シンプルながら効果的なモニタリングフレームワークも構築します。

このプロジェクトは、健康面での成果にとどまらず、教育、就業能力、市民参加といった分野で応用可能なスキルを育成します。さらに重要なのは、訓練を受けたコースエージェントをYMCA組織やYMIクラブにおける将来の役割に位置づけることで、持続可能なリーダーシップ育成のパイプラインを構築することです。

プロジェクト完了後、ユニYクラブは、ウェルネスエージェントモデルを年間プログラムサイクルに完全に統合し、ピアトレーニングと体系的な引き継ぎを通じて継続性を確保します。これにより、チェンマイにおける地域社会の健康増進のための、若者主導の長期的なシステムが確立され、プロジェクト期間後も持続的な影響をもたらします。

### インパクトの概要

- 20～25名のコースの「ウェルネスエージェント」が、健康リテラシーとリーダーシップに関する研修を受け、認定を受けた。
- ピア主導型プログラムを通じて、300人以上の若者が直接的な恩恵を受けた。
- 大学および移民コミュニティ全体で1,000人以上の間接的な受益者
- 性と生殖に関する健康意識と精神的回復力の測定可能な改善
- 持続可能な若者主導のウェルネスモデルをユニYクラブの運営に統合
- YMCAおよびワイズメンの将来のリーダーシップ育成のための人材育成パイプラインを強化した。

TOFキャンペーンでは、2026/27年度の対象となる厳選されたプロジェクトを紹介します。これらのプロジェクトは、独自性があり、実行可能で、測定可能なインパクトをもたらすよう設計された取り組みです。これらの紹介は、個々のプロジェクトへの資金調達を目的としたものではなく、TOFのリソースがいかんにして真の、そして持続的なインパクトへと結びつくかを示すものです。より広範な目的は、TOFへの認知度を高め、YMIのこの主要プログラムに対する寛大な支援、積極的な参加、そしてサポートを促すことです。

# 若者

## ワイズメンズクラブ国際協会 の強みと未来 シンドウ・トーマス



ネルソン・マンデラが私たちに思い出させてくれたように、「今日の若者は明日のリーダーです」。YMIにとって、この真実は、単なる理念ではなく、生きた現実です。YMIは、若者たちが自信、目的意識、そして情熱を持って前進し、未来の担い手としての役割を担うためのプラットフォームを提供します。若者を活動の中心に据えることで、YMIは、その理念が常に活気に満ち、時代に即し、未来を見据えたものとなるよう努めています。

若者は変化の火付け役となる存在です。彼らのエネルギー、創造性、そして新鮮な視点は、組織に新たな息吹を吹き込みます。国際ユースコンボケーション（IYC）やYMCAとの提携によるグローバルアウトリーチのためのインターンシップ（iGo）といったプログラムを通して、若いメンバーは、単に参加するだけでなく、未来を形作っています。これらの機会は、彼らが地球規模の問題に取り組み、異文化間で繋がり、YMIの奉仕と友情の精神を体現するプロジェクトに有意義に貢献する力を与えてくれます。

地域社会への奉仕は、YMIの精神の中核であり、奉仕活動を通して若者たちは、真の人間性の意味を見出します。困っている人々に寄り添い、地域の取り組みを支援し、グローバルなプロジェクトに参加することで、若いメンバーは、道徳的な想像力を広げ、多様な視点から世界を捉え、寛大さと責任感をもって人々のニーズに応えることを学びます。この体験学習のプロセスは、奉仕活動を社会意識の高いグローバル市民を育成するための試金石へと変えていきます。

若者の参加は、個人の成長を促す力強い道でもあります。リーダーシップ、プロジェクト管理、チームワークといった経験を通して、若いメンバーは、自信を築き、スキルを磨き、人格を強固にすることができます。こうした経験は、彼らが現代社会の課題に粘り強さと勇気をもって立ち向かうための準備となります。YMIは単なる組織ではなく、YMI内部だけでなく、地域社会や国家を超えて変革を促すリーダーを育成する場となるのです。

YMIへの若者の参加がもたらす最大の恩恵は、おそらく、それが育むグローバルな視点でしょう。国際的な交流やプロジェクトは、多様な文化への扉を開き、若いメンバーに違いを尊重し、団結を大切にすることを教えます。今日の相互につながり合う世界において、この包容力と尊重の精神は、単に価値があるだけでなく、不可欠です。世界中の仲間と交流することで、若者は国境を越えて考えることを学び、より明るい未来を築くという共通の責任を担うようになるのです。

あらゆる面において、若者は、ワイズメンズクラブ国際協会の強みであり未来です。彼らの情熱は、進歩を促し、奉仕活動は、人類の発展に貢献し、彼らのビジョンは、未来への道を照らします。彼らは、共に、未来は、待つものではなく、自ら創造するものであることを私たちに思い出させてくれます。

# アフリカ地域ニュース

ジョウン・マティ アフリカ地域ニュース編集者

## エワマクンビ総合学校における学習の促進



校長のベティ・ムドラ先生（左）がアーノルド・マギナクラブ会長から寄付金を受け取っている。

カカメガ郡ナバコロ地区にあるエワマクンビ総合学校は、2026年3月28日にカカメガYサービスクラブとワイズユースが主導した地域支援活動の成功を受け、大きな後押しを得ました。1,000人以上の生徒が通うこの学校は、これまで実習施設へのアクセスに課題を抱えており、生徒たちは、家庭科の授業を受けるために近隣の学校まで3キロ以上歩いて通っていました。

これに対し、同クラブは、ミシン、バナー社製卓上コンロ2台、バナー社製オープン付きコンロ4台、ガスボンベ、省エネ型コンロ、各種調理器具、冷蔵庫など、総額28万8,500ケニアシリング（2,219米ドル）相当の家庭科用具を寄贈しました。この取り組みは、実践的な学習を促進し、学習者の負担を軽減することを目的としています。教材に加え、学習者には軽食が提供され、女子生徒の健康と尊厳を守るため、生理用品も寄贈されました。

## 親睦と兄弟愛



2026年4月9日、ケニア部の各地クラブがナイロビ中央YMCAに集まり、ナイジェリア（アフリカ北西区の元区理事トゥンジ・マキンデとその妻タイウォ・マキンデと親睦を深めました。

このイベントは、大成功を収め、クラブ間の絆を深め、共通の価値観を再確認し、ワイズメンの不朽の精神を称えるものとなりました。45名以上のクラブ会員が集まり、兄弟愛と奉仕の精神を祝いました。

元区理事マキンデ夫妻は、YMIでの経験を振り返り、運動における自身の歩みとリーダーシップから得た貴重な洞察を共有しました。彼らの発言は、出席者全員に励ましとインスピレーションを与えました。

ワイズユースのパフォーマンスは、この機会に喜びを添え、次世代を育成することの重要性を改めて認識させてくれる、爽やかなひとときとなりました。マキンデー家は滞在中、ケニア部を巡り、様々なクラブと交流したり、ティカYMCAでの植樹活動など、数々の活動に参加しました。

## クラブ入会説明会および研修会



2026年4月11日、YMCA中央本部において、ナイロビメトロYサービスクラブは、新会員のクラブへのオリエンテーションを目的とした重要な研修および入会式を開催しました。このイベントは、ワイズA運動の使命を推進し、新会員が効果的に貢献できるよう十分な準備を整えるための重要な一歩となりました。研修では、ワイズ運動の価値観、組織の奉仕活動プロジェクトとプログラム、リーダーシップの原則、会費の支払い義務など、いくつかの重要な分野に焦点が当てられました。

## 偏見に立ち向かう



2026年4月14日、カンパラワイズメンズクラブは、ブガンダ王国の国王誕生日を祝う毎年恒例の祝典に参加しました。このイベントは、アフリカでトップ3に入る規模のマラソン大会の一つとされています。今年のテーマは「2030年までにHIV/AIDSを撲滅する」でした。このテーマは、世界を癒すという運動の目標と強く共鳴するものです。カンパラのワイズメンは、この病気の終息に向けたキャンペーンの規模拡大に貢献するため、HIV/AIDS検査キットを150個購入しました。

# アジア太平洋地域ニュース

利根川恵子 アジア太平洋地域ニュース編集者



## ラオスにYMCAを設立する

4月18日（土）、西日本区・京都パレスワイズメンズクラブがホテルオークラ京都にて創立55周年記念会を開催し、350名を超えるYMCA会員が出席しました。会の主要テーマの一つは、ラオスにおけるYMCA設立に関する中間報告でした。「YMCAのない国にYMCAを創設する」というビジョンのもと2019年に開始されたこの取り組みは、新型コロナウイルス感染症のパンデミックをはじめとする様々な困難にもかかわらず、着実に進展しています。2022年、同クラブは、このプロジェクトを支援するため、1,000万円の拠出を約束しました。

大野嘉宏さん、西村隆夫さん、小畑貴裕東京YMCAホテル専門学校校長をはじめとする主要パートナーの継続的な協力と献身的な努力により、ビエンチャンYMCAホテルマネジメントセンターが2026年秋に開校することが決定しました。これは、ラオスにおけるYMCAの拠点設立というより大きな目標に向けた重要な節目であり、重要な一歩となります。今回の開校は、大きな成果ではありますが、これは長い道のりの始まりに過ぎません。ラオスにおけるYMCAの本格的な設立に向けてプロジェクトが進展していくためには、継続的な協力と支援が不可欠です。

## ネパールでの台北ダウンタウンクラブ

台北ダウンタウンワイズメンズクラブの会員一行は、先日、ネパールのカンチ・マヤ・タマン記念病院を訪問しました。ヒマラヤ山麓の標高約2,000メートルのガルパに位置するこの病院は、地域の恵まれない人々への医療サービスを提供しています。クラブは、3年前、この3階建ての病院の建設を支援しました。今回の訪問では、近隣の山村の貧しい子供たちに制服を提供するため、カンチ・マヤ・タマン財団に1,500米ドルを寄付しました。



## Week4Wasteの活動

4月25日、東日本区・川越ワイズメンズクラブは、地元の動物園への楽しい外出に、Week4Wasteの清掃活動を取り入れました。

チェンマイYMCAとチェンマイワイズメンズクラブは、今年のアースデイを記念して、チェンマイYMCAサオヒン環境エネルギーセンターでYMCA会員向けに気候変動教育を実施しました。



## アルメニアの新しいクラブを訪問

最近エレバンを訪問し、新たに設立されたエレバンYサービスクラブのメンバーと交流したビルジット・ジェイコブセン（アウルムワイズメンズクラブ会長）とクリスティアン・ヘルムズ区理事は、有意義で刺激的な出会いを数多く経験しました。

代表団は、YMCAの熱心で情熱的なメンバー、赤十字の代表者、そしてその他の地元関係者から歓迎を受けました。彼らは、ワイズメンズクラブ国際協会の価値観と使命を理解するために、時間をかけて準備を進めてきたことが明らかでした。彼らは、より良い世界に貢献し、変化をもたらしたいという夢を共有していることが明白でした。彼らの温かさ、もてなし、そして積極的な姿勢は、より広い仲間の一員となり、ワイズメンファミリーに加わりたいという真摯な願いを反映していました。



今回の訪問では、YMCAのアルメニアにおける活動についても理解を深めることができました。人口約300万人、ナゴルノ・カラバフからの難民約10万人を抱えるアルメニアでは、人道支援のニーズは依然として大きいです。一行は、難民が集まり、地域社会の支援を受けられるYMCAのセーフプレイスを訪れました。この取り組みは、たとえ小規模で地域主導の活動であっても、重要な成果を上げることができ、教育がより良い未来への可能性につながることを示しています。

今回の旅を通して、国際的な責任を真剣に受け止め、たとえ小さなことでも、人々が互いに無私に手を差し伸べ合う世界に貢献することの重要性を改めて認識しました。

クリスティアン・ヘルムズ区理事は、今回の訪問を非常に感動的なものだったと述べ、「長く心に残る経験の一つです」と語りました。

## ノルウェーでのエルビス・ショー

マンダルワイズメンズクラブの会員は、3月の会合で、ノルウェーの著名なエルビス・プレスリーのトリビュートアーティストであるケル・エルビス・ビョルンスタッドをフィーチャーした、活気にあふれ盛況な「エルビス・ショー」を楽しみました。このイベントには95名の会員が集まり、参加者全員にとって大変楽しい夜となりました。クラブは今後、5月の最終週末に予定されているデンマークのフラッドストランド／フレデリクスハウンにある兄弟クラブへの訪問を準備しています。このような交流は、この運動における国際的な親睦の価値を改めて示すものです。





## ビストリツァの創造性とバランス

2026年4月1日、ルーマニアのビストリツァにある「アヴラム・イアंक」中学校の中庭とホールは、探求とアクティブラーニングのための空間へと変貌を遂げました。デンマークのクラブが資金提供するプロジェクトの一環として、生徒たちは芸術的才能と精神的な回復力の両方を育むことを目的とした一連のワークショップに参加しました。活動内容は、小学4年生から中学2年生までの異なる年齢層に合わせて調整されました。石に絵を描くこと、イースターの伝統的なアクティビティである卵の染色、そして感情を認識し、適切に表現し、学校生活におけるストレスを管理するのに役立つリラクゼーションテクニックを実践することに焦点を当てた、健全な感情管理に関する2つのセッションが含まれていました。

その日は、強い共感と協調の精神に満ち溢れていました。年少の生徒も年長の生徒も調和を保ちながら協力し合い、教師やコーディネーターは支援と励ましに満ちた指導を行いました。子どもたちは皆、他人の評価を恐れることなく、それぞれの「創造力」を発揮するよう促されました。色鮮やかな石から丁寧に装飾された卵まで、完成した作品は、子どもたちが積極的に参加していたことの明確な証拠となりました。さらに、ワークショップ終了後の生徒たちの笑顔と率直な様子は、バランスの取れた健康的な生活を送るための重要なスキルを育成するという目標が、見事に達成されたことを物語っていました。

## 「友よ、本とスクリーンよ」

ブラショフヤングメンサービスクラブは、「友よ、本とスクリーンよ」と題した非公式教育プロジェクトを企画・資金提供しました。この取り組みは、2月の休暇期間（2026年2月16日～20日）に開催された都市型デイキャンプの形で行われ、大家族協会（ASFANU）に登録されている大家族（3人以上の子どもがいる家庭）の6歳から10歳の子ども20人が参加しました。

この教育プログラムは、ブラショフにある演劇ベースの学習を専門とする自己啓発センター、Floarea Mințiiチームによって企画・実施されました。子どもたちは一週間を通して、読書とスクリーンメディアのバランスを探る創造的なワークショップや共同活動に参加しました。閉会式では、水彩画の展示、共同詩「私たちは何者？」を掲載した小冊子、そして書籍やアニメのキャラクターが登場し、子どもたちの教育の重要性を強調する演劇パフォーマンスが披露されました。



キャンプ期間中、クラブのボランティアであるエレナ・グナとジョルジュエタ・ムレシヤンは、子どもたちの学習活動を積極的にサポートしました。最終日の祝賀会には、ラミイツァ・スタマテも出席し、子どもたちの成果を祝福しました。保護者、子どもたち、そしてASFANUとFloarea Mințiiの代表者は、参加した子どもたちに無料で提供されたこの貴重な芸術教育プロジェクトを企画・資金提供してくれたYMIクラブに心からの感謝の意を表しました。

# インド地域ニュース

ジョセフ・ヴァルギース インド地域ニュース編集者

## インド中央区

### インド中央区フェロシップおよびサービス会議

インド中央区における会合が、ラジャムンドリーのシェルトン・ホステルで開催され、区全体から多くの会員が積極的に参加しました。会合では、親睦、奉仕活動、そして運動の強化に焦点が当てられました。この会合は、団結、有意義な議論、そして温かいもてなしに満ちたものでした。



## 中央トラヴァンコール区



### 中央トラヴァンコール区TOTプログラム

中央トラヴァンコール区は、3月21日～22日、ヴァガモンのJCヒルズにて、リーダーおよびトレーナー向けスキル活性化プログラム「SALT (Skill Activation for Leaders and Trainers)」を2日間開催しました。V・S・ラダクリシュナン次々期国際会長による開会式が行われ、区全体から35名が参加しました。集中的な研修と事前準備課題を経て、資格を満たした参加者には区認定トレーナーの資格証が授与されました。この画期的な取り組みは高く評価され、参加者は今後、組織内外でインターンシップ研修を受けることになります。

### 中央トラヴァンコール区 月経衛生啓発プログラム

中央トラヴァンコール区の月経衛生啓発プログラムが、区理事のラジェシュ・Vによって、マイラブラのS.H.教員養成研究所で開始されました。啓発セッションは、上級医療責任者のレシュマ・カンナン博士が主導し、月経の健康と衛生に関する貴重な知見を提供しました。この取り組みの一環として、持続可能で健康的な習慣を促進するため、学生に月経カップが配布されました。



## インド中西区



### 透析装置の寄贈

インド中西区は、エルナクラムワイズメンズクラブとリリー＆ホセ・ネティカダン財団の共同の努力により、コーチンのマラドウにあるP.S.ミッション病院に透析装置2台を寄贈しました。寄贈式は、直前国際会長シャナヴァスカン、元地域会長C・K・トーマス、第2部部長のミジュ・ネティカダンの立ち会いのもと執り行われました。

### 女性のエンパワーメントプロジェクト

国際女性デーに、インド中西区第1部のワイズメネットは、自立と平等の重要性を強調する女性エンパワーメントプロジェクトを実施しました。この取り組みの一環として、困窮しているある女性にミシンが贈られ、彼女が生計を立て、経済的自立に向けて歩みを進めることができるようになりました。このプログラムは、ワイズメネットが社会における女性のエンパワーメントに尽力していることを反映し、大きな熱意をもって実施されました。



## 女性と若者のためのタベ

インド中西区第1部は、色彩豊かで活気あふれるワイズメネットとコメットの夜を開催し、会員とその家族が親睦と喜びを分かち合うタベを共に過ごしました。プログラムでは、魅力的な文化公演や楽しいアクティビティが披露され、女性と若者の両方から熱烈的な参加がありました。このイベントは、ワイズメンファミリーの結束の精神を美しく反映し、絆を深め、参加者全員にとって思い出深く意義深い集まりとなりました。



## インド北、東、北東区



### 第4部で刺激的なリーダーシップ会議が開催される

インド北、東、北東区第4部（デリーおよびNCR）は、ニューデリーのラジパット・ナガルにあるAHF-INDIA CARES本部で意義深い会合を開催しました。この会合には、国際書記長のジョース・ヴァルギースが出席し、世界的な団結と奉仕を強調する感動的な演説を行いました。部長一のコシー・アレクサンダー・ヴァイディヤンが議長を務め、V・サム・プラサードが参加者を温かく迎え、AHF-INDIA CARESの影響のある活動について説明しました。会合では、「強い義務感を持つ義務はすべての権利に伴う」というモットーへの私たちの決意が改めて確認されました。

## 南中央インド区

### 眼科検診キャンプ

南部のヴィルドゥナガルワイズメンズクラブは、第72回眼科検診キャンプを成功裏に開催し、重要な眼科医療サービスを提供しました。合計57名の外来患者が診察を受け、うち26名が無料の白内障手術を受け、19名が無料の眼鏡を受け取りました。これは、地域社会の健康と奉仕に対するクラブの継続的な取り組みを示すものです。



### ハウス・オブ・ホープ

4月にバンガロールで開催された区役員会の日曜会合において、南西インド区は、オディッサ州プリ地区のマナス・クマール・ラウトに新しい家を献呈し、引き渡しました。ジャヤナガルワイズメンズクラブの支援を受けたこの「希望の家」は、長年の夢を思いやりと共同の取り組みに基づいた安全な住まいへと変える、意義深い奉仕活動の証です。

## 南インド区

### ビーチ清掃

世界水の日を記念して、チェンナイOMRワイズメンズクラブは、タミル・ナドゥ州コヴァラムで、環境責任と水資源保護を促進する意義深いビーチ清掃キャンペーンを実施しました。会員とボランティアの熱心な参加により、チームは、積極的にプラスチックごみを除去し、海岸線の自然美の回復に貢献しました。この取り組みは、海洋保護と将来の世代のための水資源保全の重要性についての意識を高めるためのプラットフォームとしても機能しました。





### 思いやりをもって奉仕する

ヴィルドゥナガルワイズメンズクラブ1969とヴィルドゥナガルワイズメネットクラブ1969は、共同でディンディグルにあるセント・ジョセフ・ホスピスセンターの入居者に対し、食料品、米、洗面用品、衣類を寄贈し、継続的なケアと思いやりのある奉仕への取り組みを続けました。

### 特別なニーズを持つ子どもたちへの支援

コバイグリーンシティワイズメンズクラブは、恒久的なプロジェクトの一環として、シンガナールにあるスター特別支援学校障がい者リハビリテーションセンターに必需品を寄贈し、心からの支援を示しました。この意義深い取り組みは、特別なニーズを持つ子どもたちへのケアとサポートを提供するという、クラブの継続的な社会的責任と思いやりのある奉仕への取り組みを反映したものです。



## 南西インド区



### 区研修

南西インド区は、4月11日と12日にカンニヤークマリYMCAで次期部長、次期副部長チーム向けの研修プログラムを成功裏に実施しました。主要講演者には、A・K・スリハリ、K・N・アヤッパン、アジット・バブ・D、J・ジャヤクマール、シージャ・アジット、シーバ・ジャヤラルが名を連ねました。プログラムにはビジネスセッションのほか、ヨガ、キャンプファイヤー、音楽などのレクリエーションや交流イベントも含まれていました。約60名が参加し、参加者全員から高い評価を得ました。

## 西インド区

### クラブ設立

アンバザッカドワイズメンズクラブが、意義深く盛大な式典で正式に発足しました。この式典は、ワイズ運動の活動範囲を拡大し、奉仕活動を強化する上で重要な節目となりました。



### 女性と若者の参加

クナムクラムワイズメンズクラブの会員の妻や子供たちは、区理事の訪問中、積極的に参加し、温かさや活気をもたらしました。プログラムへの熱心な参加と親睦は、強い団結力と献身を反映しており、訪問の成功とワイズメンファミリー内の連帯感に大きく貢献しました。

# 韓国地域ニュース

チョン・ギョンジュ 韓国地域ニュース編集者

韓国地域



## 韓国における地域会長表彰式

4月17日、韓国地域は、全州市のラハンホテルで第15代地域会長の任期満了祝賀会と第16代地域会長の就任式を開催し、韓国全土11区から約500名のリーダーが出席しました。地域会長のパク・チャサン夫妻、次期地域会長のチ・ソンウン夫妻、元地域会長たち、現・次期区理事らが韓国地域フラッグと地域会長フラッグに付き添われて並んで入場しました。パク会長は、送別の挨拶で、「この任期を振り返ると、うまくいったことよりもうまくいかなかったことの方が多いですが、困難な状況下でも最善を尽くしました。」と振り返り、第8回地域大会に参加した800名の会員に、教育を通じてワイズメンズクラブ国際協会を強化した努力に深く感謝いたしますと述べました。



新たに会長に就任したチ・ソンウンは、「分かち合い、愛、そして幸福」を主題に2026/27年度の活動を開始しました。次期国際会長ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィクの「ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる」という呼びかけに触れ、慈善活動と並んで親睦を深めること、恵まれない人々を哀れむのではなく尊厳をもって扱うこと、そして単なる同情ではなく自己啓発の機会を提供することの重要性を強調しました。また、クラブの拡大と新規設立を通じて会員数を増やすことに注力すると誓い、真のリーダーシップは自己反省と現実との向き合いから始まると述べ、退任するパク会長に限りない敬意と感謝の意を表しました。





## 韓国インチョン区

### 創立50周年記念式典およびIBCミーティング

4月11日、インチョンムンハククラブ（ファン・スンシク会長）は、創立50周年を記念し、インチョン・ソンドコンベンションセンターにて、IBCトライアングルパートナー（台中エバーグリーン、京都めいぷる、インチョンムンハク）の合同集会と記念式典を開催しました。会員を含む約200名が出席し、3クラブの代表者、インチョン区役員、その他特別ゲストも参加しました。

プログラムは、アルプホルンの演奏で幕を開け、続いて平和への祈り、3クラブ会長による開会挨拶、祝辞が述べられました。国際会長エドワード・K・W・オンからのビデオメッセージも上映されました。イベントのハイライトは、42年にわたる交流を称え、IBCトライアングル・パートナーに国際会長表彰が授与されたこと、そしてインチョンYMCAへの3,000米ドルの共同寄付が行われたことです。韓国の伝統的な太鼓演奏、声楽、合唱などの文化公演も披露され、祝賀ムードを盛り上げました。

クラブ会長であるファン・スンシクは、同クラブが半世紀にわたって続けてきた奉仕活動と地域社会への貢献の歴史を振り返り、AI時代に若い世代を巻き込むための「第二のムンハククラブ」を設立する計画を強調しました。

4月10日のイベント前活動には、インチョン旧市街の歴史ツアーや、文化交流、親睦、贈り物交換を楽しむ夕べが含まれていました。

3カ国からなるIBCクラブは、奉仕活動、文化交流、青少年育成などを通じて長年にわたる協力関係を継続して、国際的な友好と協力の模範となっています。



## 韓国プウルギョン区

### BFアンバサダーがスリランカを訪問皆さん

ブサンアルファワイズメンズクラブの会員であるペ・ジョンエ次期理事がBF代表としてスリランカを訪問し、元区理事が手配したホストファミリー宅に5日間滞在しました。滞在先はスリランカ第2の都市キャンディです。滞在中、ペは、キャンディの3つのクラブを訪問し、韓国文化を紹介するとともに、韓国のワイズメンの活動について説明しました。



### 障がいへの配慮

キムヘ部（部長：ビュン・ヤングー）は、キムヘYMCAおよびキムヘのワイズメンと協力し、4月20日（韓国障がい者の日）に障がい者との共同プロギング（走りながらゴミを拾う）イベントを企画しました。屋外での活動は雨天のため中止となりましたが、約30名の障がい者と70名のワイズメンメンバーが屋内に集まり、生活必需品を分かち合いました。パク・チャサン地域会長や地域の役員も出席し、激励や贈り物をする中で、意義深いイベントとなりました。



### 環境美化

4月19日、ジンジュベータチョクワイズメンズクラブの会員たちは、チャンウォン野球場での野球観戦後、環境清掃活動を行いました。この活動は、YMIの「Week4Waste」の取り組みに沿って実施されました。活動後、会員たちは親睦を深める夕食会で一日を締めくくりました。



## 韓国チョンボク区



### ユースフォーカス

ジェンジュワースウィズワイズメン&ウィメンズクラブ（会長：イ・スンヨン）は、4月13日に青少年支援のための募金イベントを開催しました。プログラムには、「ユースバザー&スポンサーシップパブ」、バザーの収益を青少年への食事提供に充てるボランティア活動、そして「ユーステーブル2デー」イベントが含まれていました。これらの活動は、奉仕と支援の意義深い機会となりました。



## 韓国西区

### マラソンボランティア活動

デジョンジョウンワイズメンズクラブ（会長：ハ・ヒョンスン）は、4月11日に開催された「デジョン湖マラソン」でボランティア活動を行いました。クラブメンバーは、他の区代表者や近隣大学の学生らとともにイベントを支援しました。

# 米国地域ニュース

メラニー・カアイフェ・ヨシダ 米国地域ニュース編集者

3月は、地域奉仕活動の重点月間であり、米国の各クラブは、地域社会のニーズを実際かつ目に見える形で支援する組織的なアウトリーチ活動やボランティア活動を通じて、奉仕、親睦、責任感といった価値観を示しました。

## 困っている家族を支援する家族

ニューヨークウェストチェスターYサービスクラブの会員7名の妻たちが、ウェストチェスター医療センターの敷地内にあるロナルド・マクドナルド・ハウスでボランティア活動を行いました。この施設は、マリア・ファレリ小児病院で治療を受けている子供たちの家族を支援する場所です。



3月21日（土）、彼らは「Meals That Heal」プログラムの一環として、温かく心安らぐランチを購入、調理、提供し、約40名に提供しました。ロナルド・マクドナルド・ハウスは、世界各地に支部と施設を持つグローバル組織です。ウェストチェスターの施設は、病院で治療を受けている子供たちの家族に不可欠なサポートを提供し、困難な時期に安らぎ、ケア、そしてコミュニティの温かさを感じていただけるよう努めています。



## TOFでのボランティア活動

ウェストカバラスYサービスクラブのメンバーは、シェア・ザ・ハーベスト・コミュニティ・ファームでボランティア活動を行い、来るべきシーズンに向けて菜園の除草をしながら、レタス、キャベツ、ブロッコリーの植え付けを手伝いました。地元の家族が新鮮な食料を入手できるよう支援する、やりがいのある実践的な経験となりました。2015年に設立されたこの農場は、カバラス郡とローワン郡全域で新鮮な農産物を栽培・配布することで、地域社会の栄養補給に尽力しています。主にボランティアによって運営されており、これまでに115,842ポンド以上の農産物を困窮している人々に提供してきました。このプロジェクトは現在、TOF資金の支援を受けています。

## 配食サービス

サウスローワンYサービスクラブは100米ドルを寄付し、サウスローワンの全8ルートで栄養満点の食事を配達することで、ミールズ・オン・ホイールズを支援しました。クラブのメンバーの中には、ミールズ・オン・ホイールズのボランティアとして定期的に活動している者も複数おり、これはクラブにとって恒例の奉仕活動となっています。



## イースターバスケットの組み立て

カナポリス・ジョン・R・モットワイズメンズクラブの会員たちが、救世軍センター・オブ・ホープの子供たちのためにイースターバスケットを組み立てました。クラブ会長のデビー・オーウェンズが、コンコードにある救世軍にバスケットを届けました。



## タコスとケーキ

ウェストカバラスYサービスクラブとカナポリス・ジョン・R・モットワイズメンズクラブが提携し、ノースカロライナ州コンコードにある救世軍タッカー・センター・オブ・ホープでタコスとケーキを提供しました。会員たちは調理、食材の寄付、配膳などで貢献しました。



# 国連デー

国連プロジェクト委員会委員であるロイス・マラセリーが特定し要約した、5月の主要な国連記念日



ロイス・マラセリー  
国連プロジェクト委員会メンバー

## 国際家族デー

家族が社会の基本単位として果たす根本的な役割を強調し、世界中の家族に影響を与える社会的、経済的、人口動態的プロセスへの意識向上を促します。そして、家族の幸福とすべての人々の持続可能な発展を支援するための政策と行動の強化を求めます。

5月15日

## 平和に共存する国際デー

すべての人々の間で平和、包容、理解、連帯という理想を促進します。多様性の受容、対話、和解、そしてコミュニティ間の協力を通じて、持続可能な平和の構築に向けた取り組みを奨励します。

5月16日

## 世界フェアプレイデー

スポーツをはじめとする様々な場面において、誠実さ、尊敬、友情、連帯といった価値観を促進します。また、公正な競争と社会における平和共存の基盤として、倫理的な行動、機会均等、相互尊重の重要性を強調します。

5月19日

## 対話と発展のための文化的多様性の世界デー

文化的多様性が対話、相互理解、そして持続可能な発展を促進する上で極めて重要な役割を果たすことを強調します。また、文化的多様性を人類共通の遺産として尊重し、平和、社会の結束、そして包摂的な進歩のための重要な原動力として推進します。

5月21日

## 国際生物多様性の日

地球上の生命を維持し、人間の幸福を支える上で生物多様性がいかに重要であるかについての意識を高めます。生物多様性の損失を食い止め、天然資源の保全、持続可能な利用、そして公平な分配を促進するための緊急の行動を求めます。

5月22日

## 国連平和維持軍の国際デー

この賞は、国連平和維持活動に貢献してきた軍人、警察官、文民職員の奉仕と犠牲を称えるものです。平和の促進、民間人の保護、そして紛争から永続的な安定への移行を支援する上で彼らが果たした重要な役割に敬意を表します。

5月29日

このセクションでは、YMIの価値観と使命に最も合致する、国連の主要な記念日をいくつかご紹介いたします。国連記念日の全リストと詳細については、国連の公式カレンダーをご覧ください。



# 国際ユースコンボケーション (IYC) 2026

マレーシア・ペナン

2026年9月7日から13日まで、マレーシアのペナンで開催されるワイズメンズクラブ国際協会・第20回国際ユースコンボケーション（IYC）にぜひご参加ください。

東南アジア屈指の美しい沿岸遺産地である「東洋の真珠」で、忘れられない6泊7日間をお過ごしください。今年のIYC 2026は、第75回国際大会（IC 2026）と同時開催となる歴史的な合同大会であり、世界中のワイズメンズクラブ国際協会ファミリーと交流できるまたとない機会をご提供します。

世界の仲間がペナンで歴史を刻む、この記念すべき集まりにぜひご参加ください。マレーシアならではの温かいおもてなし、共通の使命の意義、そして海に沈む夕日と夢から始まる未来が織りなす美しい街の息吹を、心ゆくまでご堪能ください。

国際ユース委員会 2026/27

## 会場と宿泊施設



IYC2026で、ジョージタウンならではの最高のおもてなしをご体験ください！会場と宿泊施設はYMCAペナンが提供し、フレンドリーなスタッフが皆さまを温かくお迎えし、コンボケーション期間中は、まるで我が家のようにくつろいでいただけるようお手伝いいたします。



# 2026IYC

## プログラムのハイライト

2026年9月7日～13日

9月7日

到着、チェックイン IYC 2026 開会式

国際役員が IYC 2026 を訪問  
IYC 2026 セッション

9月8日

9月9日

地域奉仕活動とキャンプファイヤーディナー

IYC 2026 セッション  
IC 26 開会式

9月10日

9月11日

IC 26の参加者によるYMIフェスティバルゲーム  
Yのオリンピック

エクスカーション  
国際会長晩餐会（カルチャーナイト）

9月12日

9月13日

閉会式  
チェックアウト、出発

準備はいいですか？ IYC 2026の登録受付が間もなく開始されます。  
最新情報をお見逃しなく！



## 聖霊

ヴィリー・モルゴー キリスト教強調国際事業主任

使徒たちは、ユダヤ人が過越祭から50日後に祝うように、小麦の収穫を祝うためにエルサレムに集まっていました。しかし、使徒たちは、実際には何も祝っていませんでした。彼らは、神の息吹をひたすら待ち続けました。なぜなら、神の息吹がなければ何もできなかったからです。彼らは、勇敢で善良な男たち、力強い男たちで、漁師や職人として働いていた経験があり、本来なら仕事に取り掛かることもできたはずでした。しかし、神の息吹なしには、神の臨在を感じずには、何もできませんでした。彼らは、互いにどう接すればいいのか分かりませんでした。

そして、ある出来事が起こりました。「すると突然、天から強い風のような音がして、彼らが座っていた家全体に満ち渡った。炎のような舌が現れて広がり、一人ひとりの上に留まった。すると彼らは、皆聖霊に満たされ、御霊が語らせるままに、異なった言葉で話し始めた。」(使徒言行録2章2-4節、ペンテコステ)

したがって、ペンテコステとは、神の息吹がこの世にもたらされた日、すなわち私たち一人ひとりを生きた存在にする息吹がもたらされた日であると言えるでしょう。私たちは、神の被造物であり、神と共に生きるために必要なすべて、すなわち命の息吹そのものと、私たちが生きるよう召されている命を授かっているのです。

神は、御子イエス・キリストを遣わされました。言い換えれば、神ご自身が地上に来られ、御自身の意志を明らかにし、御言葉、御愛、そして御助けを通して、私たちがどのように生きるべきかを示してくださったのです。私たちは、自分の人生を自分で切り開いていかなければならない、いわば「自分の主人」として放っておかれるのではありません。私たちには、神、イエス・キリスト、そして聖霊が与えられ、それらに従って生き、導かれるのです。

ペンテコステの日、神は、慰め主である聖霊を遣わし、イエスが伝えたすべてのことを私たちに教え、思い起こさせてくださいました。それは、教会がその上に築かれるためです。そして、私たち教会には、なすべきことがたくさんあり、一人ひとりが充実した人生を送らなければなりません。しかし、聖霊が地上に来られたことで、私たちは、この務めにおいて決して孤独ではなく、互いに孤独でもありません。私たちは、常に神と、神の命を与える息吹に支えられているのです。

ワイズメンズクラブ国際協会においても、私たちは、決して孤独ではありません。私たちは、神の命を与える恵みに満たされています。聖霊は、常に私たちの傍らにいます。困難と驚きに満ちたこの人生において、私たちは、聖霊の助けに頼るよう召されています。